

ご協力ありがとうございました

平成27年10月1日～平成28年3月31日
(敬称略・順不同)

寄付金

国安 佐知 藤原 ミカ子
前川 満枝 長島 恭子

募金箱

中井 孝子
寺野 千壽子



平成28年度 豊中親和会後援会役員

顧問	名迫 弘	書記	雑賀 正子	参与	石橋 志津子(兼)
会長	前川 満枝		菱谷 啓子		中井 孝子
副会長	尾上 玲子	会計	岡本 寿嘉子		(豊中市手をつなぐ育成会)
	石橋 志津子		田中 栄子	監査	前田 英子
	(原田校区福祉委員会)	幹事	寺野 千壽子		村山 三代
	長島 恭子		遠山 琴枝		(原田校区福祉委員会)
			石外 好子		



物品販売のご案内

商品名	販売単価	商品名	販売単価
静岡産煎茶(200g)	860円	すりごま(90g)	310円
静岡産煎茶(100g)	430円	三色もろこし(150g)	310円
万能茶(400g)	510円	おいしい飴各種	170円
発芽黒豆茶ティーパック(20袋)	610円		

いつも物品販売にご協力いただき、誠にありがとうございます。平成27年度の販売利益(物品・バザー一品・手作品等)が、439,951円ありました。これも皆さま方のおかげと感謝しております。今年度も、なかまの店やいろいろな催しに出店いたします。皆さまと共に頑張っていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

更新・入会のお願い
後援会賛助会員募集

賛助会員
個人年間 一口 3,000円
団体年間 一口 10,000円
寄付でのご協力もお願いします
申し込み先: 豊中親和会後援会
社会福祉法人豊中親和会内
(TEL 06-6868-9701)
郵便振替: 00970-2-176038



豊中親和会後援会だより第28号 編集後記



今回の総会の中で、新理事長より、グループホームの増設に積極的に取り組むとの意向が示されました。社会福祉法人豊中親和会が設立されて15年目を迎え、親も子もますます高齢化しています。親の訃報を聞くにつけ、不安に思っていました。“親亡き後、24時間安心して地域で生活ができる”と言う、家族の願いが少し前進したように思います。早急にできるよう、後援会でも協力できればと思います。賛助会員の皆さまにおかれましては、いつもご支援ありがとうございます。「後援会だより」を通して、各事業所での行事や生活にご理解いただけたら嬉しいです。これまで同様、皆さまのご支援ご協力よろしくお願いいたします。豊中親和会後援会役員一同



豊中親和会

後援会だより

発行者 豊中親和会後援会
住所 〒561-0881
豊中市中桜塚4-8-13
ミレ桜塚4F
社会福祉法人豊中親和会内
電話 06-6868-9701
FAX 06-6868-9702
頒価50円

第14回豊中親和会後援会通常総会

平成28年5月6日豊中市立福祉会館において第14回通常総会が開催され、全ての議案が提案どおり承認されましたことをご報告いたします。(総会当日総正会員数95名、出席者42名、委任状提出者32名)尚、資料は3ページをご参照ください。

会長挨拶



豊中親和会後援会 会長 前川 満枝

本日も、例年通り「豊中市手をつなぐ育成会」総会に引き続き、豊中親和会後援会通常総会を開催させていただき運びとなりました。ご来賓の皆様には、ご多忙にも拘わりませずご臨席賜りまして誠にありがとうございます。また会員の皆様には、お疲れのところご出席くださりありがとうございます。

後程報告させていただきますが、この一年間、会員皆様方・また多くの方のご支援・ご協力により、滞りなく平成27年度の事業を執り行うことができましたことを感謝申し上げます。今年度は役員改選の年でもあり、28年度事業計画・予算とともにご審議のほどよろしくお願いいたします。

ところで、社会福祉法人豊中親和会では、昨年11月、常務理事で多機能型事業所みらい管理者の吉田耕治様が理事長にご就任くださいました。

前理事長星屋好武様には、初代理事長渡邊貢様ご逝去のあと、渡邊様の思いを引き継ぎ10年に亘り、手をつなぐ育成会会長兼務でその重責を担ってくださいました。次々と制度が変わる中、ご苦労も多かったことと思います。本当にありがとうございました。これからも法人設立母体の育成会会長として色々とお世話になること存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今後は豊中親和会が新理事長のもと、中・長期計画に則り、安定した運営と新事業の実現に取り組んで下さることを信じ、後援会としてできる限り協力して参りたいと思います。

さて、当会ではこの15年、正会員の皆様には多額の会費負担をお願いし、又、バザーその他では家族の方々はもとより、一般の皆様にも沢山の支援・ご協力をいただき、こつこつと積み立ててまいりました。この貴重な浄財を、高齢化していく家族やメンバーが待ち望んでいる事業に役立てて頂けるときを、一同楽しみにしています。

また、昨年11月には、法人設立15年を鑑み、みらい・第2みらい利用者の自主製品作品展を「なかまの店」で開催いたしました。あいにくの悪天候でしたが、多数の方がご来店くださり、「世界にひとつ！」の作品を観ていただきお買い求めいただくことができました。

そして、第2みらい開所10周年を祝し、ささやかながら紅白饅頭を配らせていただきました。4年前にはみらい開所10周年、昨年は第2みらいも無事10周年を迎えることができました。これもひとえに法人の職員皆様方のご努力と多くの方々のご支援のお蔭と改めて感謝申し上げます。

巷には、厳しいニュースがあふれています。一億総活躍社会とは、高齢者・障害者・そして幼い子どもたちの笑顔があふれる社会とはどんな社会でしょう。彼らに携わってくださる職員が安心して働ける制度を切に願います。

この度の熊本大震災で大きな被害に合われた方々に思いを馳せ、今日ここで無事総会を開催できましたことを感謝し、相互扶助の精神で、今後ともご協力・ご支援くださいますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶

豊中市手をつなぐ育成会会長
社会福祉法人豊中親和会理事 星屋 好武

昨年の11月まで、理事長を10年間務めさせていただきました。在任中は後援会の皆さまに大変お世話になりました。理事長就任時は会社在籍中でありましたので、2足のわらじどころか親の会との3足のわらじで走ってきました。

その10年間には、障害福祉の制度・仕組みが大きく変わる法律の施行及び改正がありました。措置の制度から契約、障害者自立支援法、事業移行と、その都度対応に追われましたが、皆さまのご理解と職員の努力で新しい制度で事業を展開することができました。

また社会福祉法の改正も施行され、大きく体制が変わります。後任の理事長の下で対応されますが、一理事として協力させていただきますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



社会福祉法人豊中親和会理事長 吉田 耕治

皆さんこんにちは。理事長の吉田でございます。本日はお招きをいただきまして、ありがとうございます。

豊中親和会後援会の平成28年度通常総会がこの様に開催されましたことに、謹んでお喜びを申し上げます。

後援会の皆様には、日頃より法人運営の各般にわたって、きめ細かなご支援ご協力をいただいておりますことに、この場をお借りしまして改めて厚くお礼を申し上げます。

法人も設立以来、15年が経過し、色々な事業を展開する中で、その規模も大きくなってまいりました。

設立当初のようにこじんまりとやっているうちはあまり粗も目立ちませんが、事業規模が大きくなるに伴い、それに見合った中身、質が問われるようになってまいりました。

そんな経緯もありまして、法人では昨年4月に「中・長期計画」を策定し、法人の課題や進むべき方向などについて一定明らかにしてきたところです。昨年は「虐待防止の仕組みの構築」や「グループホームの運営手法の検討」「支援懇話会の開催」また第2みらいでは第三者評価の受審などに取り組んできたところです。

さて28年度の取り組みについてですが、28年度は当初予算が赤字でスタートをするという事態となっております。このことにつきましては、色々な要因が考えられますが、不採算部門の縮小・撤退ということが、法人にとりましては喫緊の課題となっております。

具体的に申しますと、残念ながら就労移行支援事業「ふつーる」の継続中止と現支援センターからの撤退を検討せざるを得ないと考えております。ただ、「ふつーる」には現在利用者がおられますので、利用者やご家族のご意向を十分に踏まえながら進めていきたいと考えています。

また現支援センターには国庫補助金が投入されていますので、簡単にはいかないと思っておりますが、多少の無理をしても進めていかざるを得ないと考えています。

もう一つの取組としては、「グループホームの増設」があります。これも非常にご家族のニーズが大きい懸案でございますので、法人といたしましては様々な手法を駆使して、積極的に取り組んでいきたいと考えております。

後援会の皆様におかれましては、法人が取組もうとしているこれらの課題達成のために、大所・高所の観点から、色々な局面においてご支援をいただきますように切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、後援会の益々のご発展と本日お集まりの皆様のご健勝を祈念し、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。



第2みらい

イチゴ狩りに行ってきました

生活介護事業所第2みらい 支援員 山田 大貴

5月19日に、全体行事として、兵庫県猪名川町の「フルーツファーム果楽土」に行ってきました。最近の行事は雨天続きで天気が一番心配でしたが、晴天に恵まれ、利用者の笑顔も格別でした。イチゴ狩りは毎年実施していることもあり、皆様摘むのはお手の物かのように、器用にイチゴを摘まれ、採れたてのイチゴを堪能しながら表情よく食べられていました。45分間でしたが、新鮮な味を満喫することができ、十分に楽しめたことと思います。

昼食場所は「ふれあい公園」「ふるさと館」にわかれ活動しました。「ふれあい公園」では、敷地の広さを活かし、図書館やウォーキングなどに取り組み、「ふるさと館」では、芝生広場で水遊びなど、自然とふれあいながら楽しまれていました。いずれも普段とは違った活動を堪能できたことで、充実した一日となったように思います。

来年も、より美味しく、より笑顔が溢れる味覚狩りにしていきたいと思っております。



支援センターみらい

グループホームの余暇支援について

支援センターみらい センター長 岡本 啓

グループホームでは利用者の皆さんの日常生活が少しでも充実したものになるよう、様々な余暇支援活動を行っております。そのひとつに週末の外出行事があります(各ホーム上限3回まで)。ホームごとでやりたいことや行きたい場所などを決め、土曜や日曜などに支援員と一緒に掛かっています。少人数での活動ということもあり、様々なところへ出掛けられています。バイキングを食べに行ったり、温泉へ行ったり、途中で喫茶店へ寄ったり…。遠いところでは岬町や姫路まで行かれたところもありました。この外出行事のほかに、誕生日会やクリスマス会といったことも行なっています。また、日常生活の中でも散歩へ行ったついでに少し買い物をしたり、ホーム内でカラオケやテレビゲームなどをしたりする所もあります。

今後も利用者の皆さんの意見を取り入れながら、様々な余暇支援の企画をお手伝いし、ホームでの生活が少しでも楽しいものになるよう、ひいてはホームがより魅力的なものになるよう努めてまいりたいと思っております。

5月28日(土)
太秦映画村に行ってきました。
(栗ヶ丘ホーム)



5月22日(日)
神戸どうぶつ王国に行ってきました。
(桜塚ホーム3)

